



さわらびからの初日の出

創樹

題字は 田中蘆雪さん

発行元
社会福祉法人創樹会
広島県福山市水呑町718番地1
TEL (084)956-0255
FAX (084)956-5749

私たちの使命は障がいのある皆さんの生命を守ることです。創樹会では、常にマスクの着用や手洗いと手指の消毒、換気、三密（密閉・密集・密接）を避けた日々の活動、環境整備と事業所内消毒などスタッフの懸命な感染防止対策によって感染者を出さずに推移していますが、「人と人との接触機会の低減」や「外出機会の削減」により様々な行事の変更や中止によって皆さんに大きなストレスが生まれ、特に状況の理解が難しい人たちの感染防止や日々の鬱屈した気持ちの発散には大きな課題ができています。海外ではワクチン接種がはじまり、わが国でもワクチンの申請が出され、三月以降医療関係者から

昨年暮れの豪雪に始まったこの冬はこれまでの暖かな年末年始と異なり寒さの厳しい年になりそうです。新型コロナウイルスやインフルエンザ、流行性胃腸炎の感染防止にも改めて悩まれる季節となりましたが、スタッフの日々の清掃や消毒、換気、マスクの着用など基本的な感染防止策のお陰で穏やかに新年を迎えることが出来ました。

昨年は、年明け早々から新型コロナウイルス感染が始まり、瞬く間に世界的なパンデミックとなり現在なお欧米では猛烈な勢いで広がりをみせています。感染力の強くなった変異種が英国などで発生したとの報道で新たな恐怖が生まれています。わが国でも経済の立て直しとして始められた「Go To トラベル」が年末年始を挟み突然全国一斉に一時中止が発表され多くの混乱を招いています。十一月下旬以降、広島市内を中心に新型コロナウイルス感染者数が急増し、感染状況は県内全域にわたって拡大基調となり、感染者の新規報告数はステージ4に近い状態であると伝えられ、岡山県でも医療機関が崩壊寸前だと言われています。広島県からは連日のように障害者関係福祉施設・事業所に「新型コロナウイルス感染拡大防止策」と「利用者への感染防止対策の徹底」、「ノロウイルスなどの感染性胃腸炎の防止」喚起が再三にわたって強く要請されています。

順次接種が始まると紹介されていますが、強いアレルギー（アナフィラキシー）の発症なども報じられ、先が見えない不安な日々が続きます。さて、昨年には障害児入所施設福山六方学園の年齢超過児（十八歳以上）の居住支援を目的にサポートセンターかなで（日中サービス支援型GH）を開設いたしました。ここでは発達障害や行動障害の厳しい人たちが生活を始めていますが、約半年が過ぎやうと生活の変化に馴染んでくれたよう、落ち着いた日々を迎えることができています。ただ、毎年のように特別支援学校などを卒業する人たちがいますので、地域生活の場づくりとして重い障がいのある人たちのGHを作り続けるのは大変難しいと思われる。福山市では障がいのある人たちの生活を地域全体で支えるサービス提供体制として「地域生活支援拠点等の整備」を本年度中には立ち上げる予定となっていますが、また具体的にはなっていない。国では新年度に向け重い障がいのある人たちのGHに関する報酬の見直しなどを進めると聞きますがどのよう改定がなされるのか、新型コロナウイルス禍の時代と並行して障がい者福祉予算がどの程度改善されるのか、年度末に向けて注視しなければなりません。

皆さんの幸せに繋がることとして、法人内でも年明け早々から新型コロナウイルスの感染状況とワクチン導入を踏まえながら、学習・研修を深め、新たな時代に向け果敢に歩を進めたいと思います。本年度も「障害のある皆さんの幸せと尊厳は私たちが守る！」との強い認識を持った法人に成長するよう、一同、励まし合って参ります。

大変な新型コロナウイルス感染の時代ではありますが、皆様のご多幸をお祈り申し上げます、本年も変わらないご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人創樹会 理事長

西山堅太郎

あけまして

おめでとうございます

～新型コロナウイルス緊急包括支援事業～

空気清浄器



パーティーション



福祉サービスの継続的な提供体制の整備を目的とした新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業。この事業を活用してマスクなどの消耗品や人と人との接触を避けつつ会議やコミュニケーションを継続するためのICT機器、空気清浄機等を導入しました。今回は、その活用について紹介します。

フェイスシールドやマスク



消毒器



web会議用のwebカメラやパソコン



社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp>) ☒ fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp

事業所一覧
福山六方学園（障害児入所施設）（障害児短期入所事業）（日中一時支援事業）
あゆみ苑成人寮（障害者支援施設）（生活介護事業）（短期入所事業）（日中一時支援事業）
サポートセンターひびきの家（共同生活援助事業）
サポートセンター友の家（共同生活援助事業）
サポートセンターかなで（日中サービス支援型共同生活援助）（短期入所）
さわらび（生活介護事業）（日中一時支援事業）
ヘルパーステーションあしすと（居宅介護・行動支援事業）（移動支援事業）
ONE-すてっぷ（児童発達支援事業）（放課後等デイサービス）（日中一時支援事業）（障がい児療育等支援事業）
ふぁんたす（放課後等デイサービス）
相談支援センター風ぐるま（一般相談支援事業）（特定相談支援事業）（障がい児相談支援事業）
さくら（就労継続支援B型事業）（生活介護事業）

あとがき

新年あけましておめでとうございます
昨年はコロナにより、生活が一変してしまいました。一日も早いコロナの終息を願うとともに、笑顔のあふれる年となりますよう、お祈り申し上げます。今年もよろしく願い致します。

(編集スタッフ一同)



サポートセンターひびきの家

村上 佳子

来年の集いには、皆さんの笑顔が集まった場になれたらいいなあと。そして、ホームで生活しているお一人おひとりが、穏やかに過ごして頂けるように、私たちスタッフも元気に支援していきたいと思っています。



サポートセンターひびきの家

サポートセンターひびきの家では、十一月二十三日に、勤労感謝の集いを行いました。例年、さわらびでしていましたが、今年はホームごとの形となり、二名の利用者の方が、日々の頑張りを理由に、表彰を受けられました。ホームという温かさの中、少し物寂しさを感ずるような集いとなりました。

さわらび

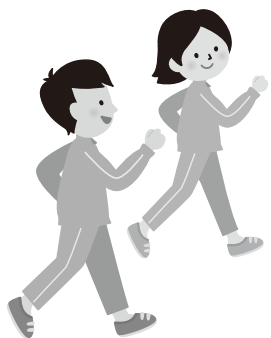
さわらび・きらりでは、十一月二十四日（火）に勤労感謝の集いを行いました。小さな会ではありますが、ソーシャルディスタンスに注意しながら行いました。

さわらび・きらりでは、男性が一名・女性が二名の利用者の方が表彰を受けられました。みなさん、日々の活動の中で作品展に向けて作品制作に取り組み、活動において利用者同士で助け合う姿が見られました。また、新しいことへチャレンジする姿も見られました。私たちもスタッフもその姿を見て力をもらいました。そして何より、みなさんが体調崩されることなく元気に通所されたことを嬉しく思います。さわらび・きらりでも、コロナ禍の影響で、利用者のみならずには行事の中止や外出自粛等、我慢していただくことが多くなっています。今までの日常に戻るのを願って、利用者・スタッフ一同、頑張っていきたいと思います。

さわらび 中川 梓志



強歩練習中にて



あゆみ苑成人寮 志田 大明

十二月六日に一日強歩の開催を予定していましたが、今年度はコロナウィルスの影響で、参加される皆さんの安全を確保することが難しい一日強歩を延期しました。ですが、強歩期間は今年の二月中旬まで続くので、利用者さんは安全を考慮したうえで、強歩の練習を続けています。強歩は、創樹会の歴史ある行事なので、コロナウィルスの状況を見ながら、開催の検討をしていきたいと思っています。

強歩委員会より

創樹会 勤労感謝の集い

創樹会では今年もスタッフ、利用者さんたちの勤労感謝の集いを行いました。

コロナ禍でありますので3密に気を付けて、各施設に分かれての式典となりました。



永年勤続表彰にて



福山六方学園では、十一月二十三日に勤労感謝の集いを行いました。例年は、あゆみ苑成人寮と合同で行っていましたが、コロナウィルスの影響から規模を縮小し、福山六方学園内で行いました。利用者の皆さん、スタッフ共々、体調を崩すことなく参加することができました。今年度は、小学部六年生の二人が表彰されました。いつもとは違う雰囲気二人とも表情が硬く、これから何が始まるのか緊張している様子でした。ケース担当や他の利用者の皆さんから頑張った内容を伝えられるうちに笑顔が増え、記念品の贈呈では更に嬉しさを表現される姿も見られました。また、他の利用者さんから「来年は表彰されたいな。一等の声を聞き、素敵な集いとなりました。」

来年度はコロナウィルスが治まることを祈りつつ、日々予防対策に勤しんでいきたいと思っています。

福山六方学園 野元 亜衣

福山六方学園



あゆみ苑成人寮では十一月二十三日に、勤労感謝の集いを行いました。三密に気を付け、換気をしながらの式典となりました。はじめに西山理事長より挨拶があり、その後林施設長より今年の表彰者に賞状と記念品が手渡され、ある利用者さんは賞状を受け取り「やったあ!」と、満面の笑みを浮かべていました。コロナ禍の中で利用者の皆さんには我慢していただくことが多くなっていますが、この状況をあゆみ苑一丸となつて乗り切り、元のように笑って過ごせる日々が早く戻ってくると思います。

あゆみ苑成人寮 山下 和朗

あゆみ苑成人寮





「メリークリスマス」今年もふあんたすには、待望のサンタクロースが来てくれました。
福山市内でもコロナの感染拡大が心配される中ではありましたが、密にはならないように安全面に配慮して、毎年恒例のクリスマス会を行いました。
「今日もサンタが来るんじゃない？」「きつとあの人よ」などと始まる前から話している子ども達。しかし、サンタクロースのことは気にならなくても、やはり子ども達が楽しみにしているのは、ケーキとプレゼントです。
美味しそうなケーキを目の前になると、すぐにケーキに夢中に。夢中で食べている途中に、次のお楽しみ、プレゼントを持ってサンタが登場！ ケーキを食べる手を止め、一人ずつプレゼントをもらいました。
コロナ禍であってもクリスマス会を行ったのは、子ども達に季節行事を親しんでもらうことはもちろん、さまざまなことが起きてしまった「二〇二〇年」を、是非楽しいイベントで締めくくってほしい、という思いからでした。子ども達からは「今日クリスマス会楽しかった！」「という感想を聞くことができ、また、無事に会を終わらせることができ、スタッフ一同安堵しています。
二〇二一年も、またこうして楽しいクリスマス会が継続できることを願っています。

ふあんたす

佐藤 裕樹

ふあんたす

MERRY CHRISTMAS !!

各施設でクリスマス会を行いました！
三密に気をつけて、ハッピークリスマス！！



十二月二十日、ひびきの家ではクリスマス会が行われました。例年、ひびきの家は合同で行っていましたが、今年は感染防止のため、各ホームごとに行いました。
さあ、待ちに待ったクリスマス会のスタートです！ 楽しい時間が過ぎていき、本日の楽しみのひとつ、お昼ごはんの時間です。今年は机にアクリル板のつい立てをしたり、時間差で分散して食べたり、感染防止対策を徹底しました。机の上にはサラダにチキン、ピザにお寿司…お腹いっぱい、大満足です！
そして午後からは、サンタさんとトナカイさんがプレゼントを持って来てくれました。ギターの得意なサンタさんと一緒にクリスマスソングを歌い、プレゼントを手渡してもらいました。皆さん、喜んで、照れたり…欲しい物がもらえたでしょうか？
今年は様々なイベントが中止になり、寂しい一年でしたが、ずっと笑顔の絶えないクリスマス会ができて、いい思い出となりました。

ふじ 渋谷 侑里

サポートセンターひびきの家

あゆみ苑成人寮



十二月二十二日（火）に、あゆみ苑成人寮でクリスマス会を行いました。例年は多目的室に集まって行うのですが、今年はコロナ禍ということもあり、演奏会や出し物は各棟で行いました。
年に一度のビックイベントということもあり、利用者さんも前日からそわそわしており、当日は朝から大はしゃぎ！
午前中には演奏会や、この日のために作られたDVD鑑賞会を行いました。また演奏会ではスタッフが楽器を奏でたりと、楽しい時間を過ごしました。
男女別れての開催のため例年の半分の人数でしたが、そんなことは感じさせず皆さん元気いっぱいでした。
昼食も大きなチキンやオムライスをお腹いっぱい食べて大満足！午後からはハンドベルの演奏を聴いた後、待ちに待ったサンタさんからのプレゼント！皆さん思い思いのプレゼントをもらい、とても嬉しそうにされていました。
コロナで先が見えない日々が続きますが、利用者さんの笑顔に元気をもらえた一日でした。来年も元気に過ごしてもらえよう願っております。

あゆみ苑成人寮 山下 和朗



さくら



十二月二十四日（木）にさるひろば工房まちにて、クリスマス会を行いました。西山理事長からの挨拶で始まり、コロナ禍のため、昼食は一階と二階に分かれてお弁当を食べました。チキンの他八種類のおかずとおにぎりが入った豪華な中身で、「美味しかった」と皆さんからは喜びの声。大画面でのDVD鑑賞では、「ディズニーの実写版「美女と野獣」を上映し、終わりに拍手が起きました。
その後は、ケーキやジュース、クリスマスプレゼントに数種類のお菓子の袋が渡され、皆さん満面の笑顔でした。
皆さん、楽しいひと時を過ごしていただけたようです。

さくら 中井 礼子

ONEすてつぷ

すてつぷ

冬休み初日の十二月二十四日にクリスマス会を行いました。初めて参加する子どもは「ONEすてつぷにサンタさん来るの？」と楽しみにしているようで、職員に何度も確認していました。
まずは、輪飾りや花紙などで子ども達と一緒に部屋の飾り付けを行いました。高いところが平気な子どもには脚立に登ってもらったり、天井から輪飾りをテープで付けてもらったり、指先が器用な子どもにはガムテープやセロハンテープを切る役をしてもらったりと、たくさんお手伝いをしてもらい、華やかな部屋になりました。
次に待ちに待ったクリスマス会です。職員による毎年恒例のパネルシアターやバルーンアートを見て、『ジングルベル』をみんなで歌いました。サンタクロースが登場すると飛び跳ねて喜ぶ子、怖くて職員のそばにくる子など、いろいろな姿が見られましたが、サンタクロースからプレゼントを買える嬉しさから「次名前呼ばれるかな？」と注目して座って待つ姿が微笑ましく思えました。
今年は密を避ける為、少人数でサンタクロースと写真撮影を行い、「僕も撮りたい！」と順番を待ったり、プレゼントを受け取った時にツーショット写真を撮ったりと、どの子どもも嬉しそうなお顔を覗かせていました。
「また来てねー」とサンタクロースに挨拶をする子ども達を見て、来年は新型コロナウイルスウィルスを気にすることのないクリスマス会をしたいな、と強く思いました。

ONEすてつぷ 土屋 文恵



「すてつぷ」は、就学前のお子さんを対象にした事業所です。色々な遊びや活動をしていきますが、季節の行事は特に大切にしております。クリスマスは子どもたちにとって一大イベントです。コロナ禍ではありますが、細心の注意を払いながらクリスマス会を行いました。
まずは、お楽しみのケーキからスタートです。ホイップクリームや様々なトッピングもあり、いっしょに華やかなホットケーキに子ども達も大満足でした。
お腹も膨らんだ頃になると、サンタさんはいつ来るのだろうと、窓の外を何度も見たりと、落ち着かない子どもたち。期待する気持ちと、ちょっとドキドキする気持ちが重なっているようでした。そしてついにサンタクロースが登場！歓声を上げる子どもいれば、先生の陰からソッと見る子ども。「あれは〇〇先生よ！」「いや違うよ！本物よ！」と子どもたちの興奮も最高潮です。でも、サンタクロースが目の前に来ると、みんなちゃんと順番を守って一人ずつプレゼントをもらいました。
みんなでワクワク・ドキドキを共有し、楽しいひと時になりました。きつとサンタクロースも子どもたちのキラキラした瞳を見て癒されたことでしょう！

すてつぷ

松岡 正治

医務・給食 コラム

以下、3つのポイントを参考に、免疫力アップにつなげましょう。

①**食事**…発酵食品や食物繊維を意識してとり腸内環境を整える。

腸は「第二の脳」とも呼ばれ、脳との関係も密接です。腸はストレスの影響を受けやすい器官でもあるので、自律神経を味方につけることで腸の働きも良くなります。

(免疫細胞の約7割が腸内にあります)



医務
『免疫力アップ』の体づくり

②**休養**…良質な睡眠は、自律神経の動きを整え、ストレスからの回復・耐性も向上させます。また、笑う事でNK細胞※が増えると言われています。笑いは最高の特効薬です。

※NK細胞：生まれながらに備えている身体の防衛機構として働く細胞

③**体温を上げる**…風邪をひくと熱がでますが、これは体温を上げることでウイルスを殺そうと働いているためです。体温が一度下がると免疫力は三十パーセント低下します。

体を温めることで、ウイルスに対する防御力が高まり、病気の予防にも繋がります。

以上の点に注意して規則正しい生活を送り、ウイルスに負けない体をつくりましょう。

看護師 栗原 旭美

給食

バランスの良い食事を普段から
心のストレスをフリーに

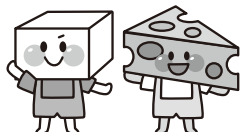
ストレスの多い生活では食事が不規則になりやすく、暴飲暴食や偏食が重なる、更に身体に負担をかけることとなります。食事でストレスを溜めるのではなく、適量でバランスの良い食生活を送り、気持ちもリフレッシュしていくことが大切です。

ストレス対策として積極的に摂取したいのは**【ビタミン】**と**【ミネラル】**です。これらは、ストレス対抗ホルモンを作る材料になりますが、現代人は不足しやすいと言われています。今回は、カルシウムとビタミンCについてご紹介します。



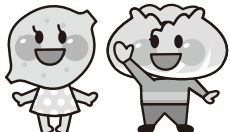
●**カルシウム**…乳製品・大豆製品・小魚等

神経を沈静化する作用があります。ストレスを感じると、カルシウムの排出が促進されるため、骨粗鬆症予防としても積極的に摂取したい栄養素です。ビタミンD(魚介類、きのこ類等)はカルシウムの吸収を高めるため、一緒に摂ると効果的です。



●**ビタミンC**…果物・野菜・芋等

病気に対する抵抗力を高める働きがあります。ビタミンCは飲酒・喫煙等でも消費されます。また、動脈硬化や脳卒中、心筋梗塞などを予防する働きがあります。



旬の食材は栄養価が高いため、積極的に取り入れていくことをお勧めします。冬の場合は**「鯛、たら、白菜、小松菜、ほうれん草、蓮根、オレンジ、レモン」**等があります。

食事を楽しくしながら、賢くストレス対策を行っていきましょう。

管理栄養士 濱野 芳貴

今後の予定

※創樹祭など、各種行事はコロナウイルスの影響により、中止となっております。

ありがとうございました (2020.10.1~2020.12.31)

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)
*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

- ボランティア
 - ご寄贈
- 関係者 3名、部谷礼子

実習生・交流

保育士	10月 1日~10日間	就実短期大学	3名
	10月11日~10日間	福山市立大学	4名
	10月21日~10日間	福山市立大学	3名
	11月21日~10日間	広島医療専門学校	1名

福祉の職場を紹介します

福祉の仕事に携わる職員のエピソードから、職場としての創樹会の様子をお伝えしたいと思います。今回は、仕事をしながら介護福祉士資格を取得した生活支援員のAさんにお話を伺いました。

Q. この仕事を始めたきっかけは何ですか。

A. もともと福祉に興味があり、子育てが一段落したら福祉に係る仕事をしてみたいと思っていたところ、今の職場のスタッフから紹介して頂いたのがきっかけです。

Q. なぜ、介護福祉士資格を取得しようと思いましたか。

A. この仕事は大変だけれどやりがいがあります。利用者さんと接していると日々様々な出来事がありそれに対応していく中で、もっとスキルアップしたいと思うようになりました。そのため専門的な知識と技術を身に付けて、もっと利用者さんの役に立ちたいと思い資格を取得しました。

Q. 仕事と家庭の両立も大変だと思いますが、更に資格取得もされました。勉強はどのようにされましたか。

A. 受講は週に一回程度のペースで、有給を利用して通学しました。家では家事や子どもの世話があり集中して勉強するのが難しかったので、空いた時間にスマホアプリを活用したり普段より少し早く起きて朝のうちに勉強したりしました。

Q. 今後、やってみたいことがありますか。

A. 音楽療法を取り入れた「音楽レクリエーション」です。

「〇〇したい!」と言葉にすることで流れがそちらに向いていくと感ずることがあります。Aさんのやってみたいことは私達の「応援したいこと」にもなっていく、利用者さんの暮らしも豊かになります。Aさんは知識に裏付けされたスキルを実践に活かし、今後も益々活躍の場を広げていくことでしょう。

事務局 山本 由紀子

鞆の津ミュージアム

鞆の津ミュージアムでは、11月23日より企画展《私物の在処(しぶつのありか)》を開催しています。本展は、持ち主にとってだけひそかな意味を持つ個人の持ち物を集め、お伝えするもの。その来歴を知らない他人にとっては何の変哲もない普通の物なのに、なぜか捨てるに捨てられず、他をもって代えがたい。そんなふうに、出品者のみなさんの人生にねざした〈私物〉には、それぞれが大切にしていることや思い出深い出来事の記憶、その人の「くせ」などがこめられています。人によって感性の「ものさし」は異なりますが、障害のあるなしにかかわらず私たちはみんな、何かある物を心の拠り所にして人生を生きざるをえない、ということでは同じなのかもしれないと感じさせられました。会期は2021年3月7日まで。コロナ禍の中ですが、ぜひどうぞご来館ください。

鞆の津ミュージアム 津口在五

